

ボールパーク誘致市民説明会（団地地区会場①）

【質疑応答記録】

日時：平成30年2月23日（金）18：30～19：55

会場：北広島団地住民センター 研修室

□ 市民からの質問、意見

→ 市の回答

- シンポジウムの際、球団の方から「誰とやるかが重要」といった話がありましたが、市としてこれはどのような意味と捉えていますか。
 - これまでの協議で一番時間を費やしたのは、ボールパークと共にどのようにまちづくりを行っていくかという事でした。そういうことから、まちづくりを一緒に行っていくパートナーを探しているというメッセージではと思っています。

- 新駅ができない場合の手立てとして、北広島駅からボールパークまでゴンドラで結ぶなどの話を聞きましたが、現実的な手段として考えているのでしょうか。
 - 交通アクセスについては、新駅設置を第一と考えています。それに次ぐものとして、現在の北広島駅からのアクセスについても、様々な手段やその実現の可能性を検討していきます。また、北広島駅からボールパークまでの心理的距離感を短くするまちづくりも、立地された際には必要な視点であると考えています。

- 道東で働いていたとき、その子どもたちが年に1回、札幌ドームに観戦に行くのを心から楽しみにしていました。北海道全体の事を考えて、地方の方たちが今以上に来場しやすくなる球場となることを期待しています。
 - 本拠地移転は球団としても大きな決断なのだろうと思っていますが、道民に夢と希望を与えたいという強い気持ちを感じているところです。立地場所に関わらず、北海道全体で盛り上げていくボールパークになればと思いますし、北広島市に立地された場合は、当市がその先頭になればと思っています。

- 夢のある話だと思っており、とても楽しみにしています。しかし新設のアクセス道路の案について、レクの森などの自然が壊されていくのが心配です。
 - 国道等への接続ルートは、立地が決まった際にはより詳細に調査していく必要がありますが、レクの森や特別天然記念物をつぶして整備する考えは全くありません。

- アジア No.1 のボールパークを目指すと言われていますが、アジアをはじめ海外からの来場者への対応などはどのように考えているのでしょうか。また、冬季の利用についてはどのような考えがありますか。
 - ➔ 道民や市民とともに、道外、海外からの観光客も一緒に楽しめるような施設になればいいとの思いは、市も球団同様に持っています。冬期間は、北海道ならではの冬のアクティビティにより活用されるものと思っています。

- まちづくりというフレーズが出てきていますが、今後の人口や税収、また JR を含めた交通分担率などについてどのように推計したうえで誘致を進めているのでしょうか。
 - ➔ 立地されたら、立地されればという今の状況は、推計値について具体的な数字を示す段階ではないと考えています。ただし非常に重要な事項であると認識しています。

- 通勤で北広島駅を利用していますが、新駅が設置された時に、快速の止まる駅がそちらに変わるのではないかと不安があります。そのような可能性があるのであれば、マイナス面であっても教えてもらいたいです。
 - ➔ 他の事柄についてもそうですが、現在市で生活している方々に負担をかけて新しいものを誘致するという考えはなく、北広島駅を中心として団地地区が形成されてきたこのまちの方向性を変えていくことはありません。また、新駅が設置されたとしても、来場者を 100%カバーすることは難しいと考えており、両駅をどううまく活用するのかということを検討していきます。

- レクの森や野幌原始林に新設道路を通すことはないとのことでしたが、その他の森林は削ってもいいという考えでしょうか。豊かな自然がある場所に道路をつくることで、動植物への影響も考えられます。今後そのような調査をした上で進めるのでしょうか。
 - ➔ 現在の樹木を全く伐採しない中での整備とはなりません。環境に対する影響調査を行い、極力影響が少ないルートや手段を検討し、自然と共生していく考えのもとに進めていきます。

- アクセス道路の新設を始めとする渋滞対策など、市として取り組むものも多いと思います。市民負担が生じないよう、その財源について確実に確保できる見通しとなってから物事を進めるべきではないでしょうか。
 - ➔ 整備するにあたり、住民税や水道料金などを上げるなどして市民負担を求めることはありません。現状の「立地されたら、立地されれば」の話の中で補助の確約を得ることはできませんので、3月に一定の方向性が示されたらすぐに必要な協議を進められるよう、国や道と調整を行っているところです。

- 立地が決まり、詳細の協議が始まった段階において、市と球団とで何か齟齬が生じたときに立地をやめることはできるのでしょうか。市民理解を得られない状況があればやめるという事も考えてもらいたいです。
 - ➔ これまでも、市としてできないことはできないと伝えてきましたし、後々に齟齬が生じないよう互いの考え方などを出し合った協議を進めています。また、物事を進めるにあたって必要な諸手続きは当然行っていきます。

- 何もしなければ、まちとしては衰退の一途をたどることになると思います。住民が積極的に関わって、ボールパークが出来て良かったという思いが共有できれば一番いいと思います。未来に向かって、何を残せるかを考えていきたいです。
 - ➔ 私どもも、未来に対してという意味で、全く同じ視点で本誘致を考えています。立地されることとなった場合は、より市民の方が参画できる仕組みを球団と共に構築していきます。